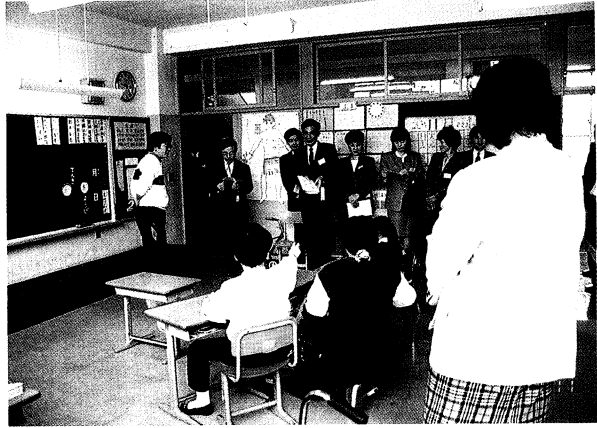


東北病弱虚弱教育研究連盟 研究協議会福島大会

11月11日～12日の両日、県立須賀川養護学校を会場に、大会主題「心身の障害を克服し、心豊かに生きる力を育てる指導のあり方を求めて」のもと、文部省の山本昌邦、郡山女子大学の森一両先生を講師に迎え、東北六県の病弱養護学校及び身体虚弱特殊学級から153名が参加し6分科会に分かれ、心身症等病弱教育のかかえる課題について、活発な研究協議が行われた。



▲授業参観風景



▲大和郭二県教育委員長のあいさつ

平成5年度 教育委員会活性化 シンポジウム (第1ブロック)

北海道・東北・関東地区の15都道県と5政令指定都市の教育委員会から434名の出席で福島市飯坂温泉を会場に11月25・26日の2日間にわたり開催された。1日目は井上孝美文部省教育助成局長の基調講演「教育委員会の活性化について」と5教育委員会からの事例発表・研究協議、2日目は「多様化する地域住民のニーズと教育委員会の在り方」と題して庄司他人男福島大学教授をコーディネーターとしてパネルディスカッションが活発に行われた。

県体育協会表彰式

(財)福島県体育協会の平成5年度表彰式が、11月30日(火)福島県文化センター「小ホール」において行われました。

昨年の国体等で、個人競技及び団体競技で秀れた成績をおさめた優秀選手97名と19団体、また、これらの選手を指導した優秀指導者17名、さらに、地域スポーツの振興に貢献された功労者3名に佐藤知事から表彰状とメダルが授与されました。



▲佐藤栄佐久県体育協会長のあいさつ